

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	SEDスクール京都竹田			
○保護者評価実施期間	2025年 10月 15日		～	2025年 10月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)	
○従業者評価実施期間	2025年 10月 15日		～	2025年 10月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	43(ごきょうだいで利用中の方を含む)	(回答者数)	32
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 4日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援が担当制ではなく全員でお子様にかかわっている。それぞれの指導員が専門性を生かした支援を提供できる。	支援の後や個別支援計画作成時など、カンファレンスを通じて全員で支援の方針を考えている。	カンファレンスでの議論を深め、専門性を生かし他職種へもレクチャーができるように、研修への参加など自己研鑽に努める。
2	個別で対応することができるので、お子様に寄り添った支援が提供できる。	お子様の興味・関心に合わせて取り組みを準備し、苦手な活動等も楽しみながら取り組めるように工夫している。	お子様について、日々の情報共有、支援方針についてなどの話し合いを重ねることで、今後もお子さまの発達に合わせたより良い支援が行えるようにしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	医療・教育関係との連携。(電話や書類上の連携はあるが、会議を開催して連携をとること)	連携の実績が少ない。(必要とされたお子様については連携を実施している)	引き続き、電話や書類上の連携を続け、関係機関との連携を深めていく。また、必要に応じて会議を開催する等、対応できるようにしていく。
2	地域との交流。	防犯、個人情報保護、収容人数等の観点で実施していない。	スクールとは別の場所でのイベント実施や、利用者様がいない時間帯に地域の方に来所頂く等、方法を検討をしていく。